

※県外視察研修及び 事務調査を実施

原発に対する研修報告

(文教経済常任委員長 宮本昭二)

10月5日～7日において県外視察研修及び事務調査を実施いたしました。

一日目は、佐賀県玄海町の玄海エネルギーパークに行き、原発に関する講義や施設研修を受けました。ここは、美しい海と豊かな自然環境に囲まれた玄海原子力発電所で、その敷地内に広がる玄海エネルギーパークは、科学のエネルギーと、九州の人のエネルギーをテーマにした展示施設でありました。

二日目は午前中に玄海町の議会に赴き、原発に対する取り組みや安全対策等について、意見交換を行いました。玄海町は、人口6,500人弱の町で、松浦半島の中央に位置し、海岸は玄海国立公園に指定されており、対馬暖流の影響を受ける全国でも有数の漁場ということでもあります。昭和31年9月に値賀村と旧有浦村の合併により玄海町が誕生し、翌年旧切木町の一部を編入し、現在の行政区となっております。高齢化率は約25%で、原発の交付金等が主な財源であり、交付金でスクールバス、学校の用務員・電気料、給食センターの人件費等へも充当されており、原発交付金の恩恵を受けておりま

す。

現在原子力発電は4基の内、3基が停止しており、再稼動するまで交付金の減額が予想され、財政的に厳しくなるという事でした。

防災行政無線に対する研修報告

(総務厚生常任委員長 中山美幸)

福岡県嘉麻市は平成18年3月に旧山市・稲築町・碓井町・嘉穂町の1市3町が合併し人口43,474人の市である。地域住民への情報伝達に時間を要し合併前の防災行政無線は各市町の違いや老朽化のため災害時における機能が十分に発揮されないことから、平成20年度に事業費3億1,800万円でデジタル方式で戸別受信機なしの防災行政無線(沖電気製)が導入されたとの事でした。大雨や強風時は聞こえない地域もあることから希望者には有料による戸別受信機(46,200円定価)の幹施も考えているとの事でした。又、議場にはカメラが設置され庁舎と一部公共施設また、旧町の一部にはケーブルテレビ回線もあり、議会の様子が生放送され住民誰もが見る事ができるとの事でした。

本町は農業主体の地域であることを考えると災害時の情報伝達は戸別受信機と屋外スピーカーの両方を設置しローカル(集落単位)放送なども併せてできる機器の整備が望まれる。



玄海エネルギーパークでの視察

※広報研修に参加

去る、8月31日に鹿児島市のホテルウエルビユーかごしまで開催され、参加しました。

この研修会は、「議会だより」作成のための研修であり、県内各市町村の広報担当議員が参加されます。研修内容は、左記のとおりですが、広報紙クリニックにおいては、好評を頂きました。

- 議会広報紙の基本について
- 議会広報クリニック

※市町村政研修会

去る、8月5日に鹿児島市の市民文化ホールで開催され、出席いたしました。これは、県内の市町村長や議員が一堂に会し、研修を行うものです。内容は、左記のとおりです。

○「国家の危機管理」

軍事アナリスト 小川和久氏

○「震災復興と日本経済再生の処方せん」

同志社大学大学院ビジネス

研究家教授 浜矩子氏

※大崎町に県外から視察

8月4日、熊本県の和水町議会が本町議会の運営状況・議会広報の発行状況という項目で、研修に来られました。内容は、議案審議や一般質問の方法・議会広報の発行等について、意見交換を行いました。

また、25日は、福岡県の粕屋町議会が本町議会の運営状況・活性化に向けた取り組みという項目で、研修に来られました。内容は、議案審議や一般質問の方法・議員活動等について、意見交換を行いました。

訂正

議会だより120号で次の箇所が誤っておりまして、以下の通りに訂正して掲載致します。

9ページ2段目12行：
大崎ものづくり会館は会館設備費に

誤 3,300万円

正 3,300千円

ふるさと雇用再生特別基金

誤 7,500万円

正 7,500千円